

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日			記入者	
部 名	生涯学習部	課 名	博物館	内 線	750-8030
事務事業名	博物館協議会運営				
予算上の事務事業名	博物館協議会経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			15110	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施 策 名	第1施策 生涯学習機会の充実				平成7年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	博物館法第20条・市立博物館条例第14条				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
博物館法第20条第2項「博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関					博物館協議会委員
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
年間4回開催 定数10人 任期2年 学校関係者3人、学識経験者5人 公募委員2人 平成11年11月20日～平成13年11月19日 「資料の収集方針と保存計画について」 平成13年11月20日～平成15年11月19日 「常設展示のあり方について」 平成16年度～18年度は「重点協議事項」の協議 ・プラネタリウムと天文関係事業の今後の展開について ・博物館シンボルマークについて					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	452	497	427	537	535
一般財源	452	497	427	537	535
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,098	1,056	1,065	1,065	1,065
事業コスト合計(a)	1,550	1,553	1,492	1,602	1,600
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	博物館協議会			対象名称(単位)	博物館協議会
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	504	504	504	504	504
対象数	40	40	40	40	40
単位あたり経費(円)	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600
前年度比		1.00	1.00	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	1 回当たりの参加率		指標式と指標の説明	参加者÷人数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	34.0	37.0	32.0		
目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
目標達成度	0.85	0.93	0.80		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	意見等の館への反映		指標式と指標の説明	実施できた提言等の項目÷意見等の数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	18.0	32.0		
目標	0.0	24.0	44.0	100.0	100.0
目標達成度		75.0	72.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		博物館協議会は年4回開催し博物館の課題を、それぞれ専門の立場より審議願ひ、博物館運営に役立っている。又、公募委員も2人が委嘱されており、市民の意見も反映されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
任期2年のうちに8回程度の協議会が開催される。この間、必要に応じて、提言や意見の具申をする。			適切な提言等に資するため、博物館サイドからの情報提供を活発にする。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			